



鹿児島県 児童クラブ連絡協議会

連絡先

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久2105-1

TEL/FAX 0995-45-7800

http://m-jidouclub.com/krijidouren-index.htm



携帯サイトです。ブック
マークに登録を！

ニュース

No. 30

2012年8月15日

6月10日県連総会、第4回学童シンポジウム開催！

2012年6月10日、始良市の「加治木町福祉センター」にて鹿児島県連第6回総会(加盟21クラブ35名)と基調講演及び第4回かごしま学童保育シンポジウムを、29クラブ78名の参加のもと開催しました。

総会では、地域連協を中心に市町村への働きかけを強めること、そのために今年度は南薩地区において連絡協議会をつくること、さらにブロック研修会として、南薩地区と北薩地区での開催を決定しました。

■基調講演

伊藤周平先生(鹿児島大学法科大学院教授・社会保障法)
～子ども・子育て新システムと学童保育の行方～

伊藤先生の講演では、現在国会で審議されている「子ども・子育て新システム関連法案」について、これまでの保育にかかる費用が委託費から個人給付になること。学童保育は、放課後健全育成事業として市町村事業とされ、自治体間の格差が生じるのではないかと問題提起されました。

今後の課題では、市町村が保育の実施義務を負っている現行制度のもとで、待機児童の解消のため認可保育園の増設・整備計画をたて、保育分野への公費増大と保育士の待遇改善による地域のインフラ整備と雇用の創出を計ることが必要だと、分かりやすく提起されました(アンケートは次ページにあります)



第4回学童保育シンポジウム

「いま、学童保育はどうなっているの? 語ろう学ぼう」

シンポジウムでは、学生の立場、指導員の立場、行政(保護者)の立場から学童保育にどうかかわっているか? 3人の方から提起をしていただきました。コーディネータとして鹿児島大学教育学部の久保田治助先生、アドバイスとして伊藤先生にも参加していただきました。

●塩井智美さん(鹿大教育学部 久保田ゼミ卒生)

大学の卒論テーマに学童保育を取り上げる。学童保育の現場を取材して、心のより所としての学童、指導員の労働条件の整備の必要性を感じたことを率直に語ってくれました。

●川添房子さん(花岡児童クラブ指導員)

55名の児童(内3名障がい児)を3名の指導員で ①笑顔で迎える ②保護者に帰っていくとき笑顔 ③「またね!」ニッコリ笑って 出迎えていること。指導員間で子ども目線、心の声を聴く、少しの変化への気配り、目配りするため日頃から指導員間の意思疎通を図っていることなど、とても参考になりました。

●井上みどりさん(南九州市企画課共同参画係)

学童に預けていた保護者の立場で、働く女性の労働環境について、また親に余裕がないと子どもをほめることができない等、母性的豊かさの必要性を語っていただきました。

久保田先生からは、保育の質を今後どうしていくのか課題であること、伊藤先生からは子どものためにもっとお金を使って欲しいと要求していくことが必要であるとコメントをいただきました。

8月8日、全国連絡会議 厚生労働省へ要請行動を取り組む

現在国会では、「子ども・子育て新システム関連法案」は「子ども・子育て関連3法案」として、民主・自民・公明3党合意をうけ修正法案が審議されています。

衆議院で修正案が通ったことをうけて、全国連絡会議は8月8日厚生労働省と国会議員に対して、以下の趣旨で要請行動を取り組みました。

詳細内容は、同封の小宮山厚生労働大臣宛と国会議員宛の要請文書を参照してください。

■要望内容

- 1 【東日本大震災で被災した地域・原発事故の被害地域の学童保育の復旧・復興】国の責任によって、一日も早い学童保育の復旧・復興と、子どもたちの安全・安心な生活を実現してください。
- 2 学童保育(放課後児童クラブ)に対する市町村の実施責任を明確にし、運営の安定性・継続性を保障する制度になるような児童福祉法の改正を要望します。
- 3 学童保育の質の確保のために「最低基準」を含めた制度としてください。

お知らせ

第37回全国学童保育指導員学校九州会場

と き: 2012年9月30日(日) 10:30~16:30

ところ: 福岡県「春日市クローバープラザ」

◆受講料 2000円

◆弁当代 700円 申込みメッ 9月10日

※詳細内容は、同封の指導員学校案内チラシを参照下さい。

●2011年実施状況調査結果まとまる

2012年学童保育の実施状況調査結果です。学童保育数は2万843か所、入所児童数は84万6919人(前年比441か所増、入所児童数は2万521人増)※詳細内容は、同封しました。



鹿児島県 児童クラブ連絡協議会

連絡先

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久2105-1

TEL/FAX 0995-45-7800

http://m-jidouclub.com/krijidouren-index.htm



携帯サイトです。ブック
マークに登録を！

ニュース

No. 30

2012年8月15日

6月10日県連総会、第4回学童シンポジウム開催！

2012年6月10日、始良市の「加治木町福祉センター」にて鹿児島県連第6回総会(加盟21クラブ35名)と基調講演及び第4回かごしま学童保育シンポジウムを、29クラブ78名の参加のもと開催しました。

総会では、地域連協を中心に市町村への働きかけを強めること、そのために今年度は南薩地区において連絡協議会をつくること、さらにブロック研修会として、南薩地区と北薩地区での開催を決定しました。

■基調講演

伊藤周平先生(鹿児島大学法科大学院教授・社会保障法)
～子ども・子育て新システムと学童保育の行方～

伊藤先生の講演では、現在国会で審議されている「子ども・子育て新システム関連法案」について、これまでの保育にかかる費用が委託費から個人給付になること。学童保育は、放課後健全育成事業として市町村事業とされ、自治体間の格差が生じるのではないかと問題提起されました。

今後の課題では、市町村が保育の実施義務を負っている現行制度のもとで、待機児童の解消のため認可保育園の増設・整備計画をたて、保育分野への公費増大と保育士の待遇改善による地域のインフラ整備と雇用の創出を計ることが必要だと、分かりやすく提起されました(アンケートは次ページにあります)



第4回学童保育シンポジウム

「いま、学童保育はどうなっているの? 語ろう学ぼう」

シンポジウムでは、学生の立場、指導員の立場、行政(保護者)の立場から学童保育にどうかかわってきているか? 3人の方から提起をしていただきました。コーディネータとして鹿児島大学教育学部の久保田治助先生、アドバイスとして伊藤先生にも参加していただきました。

●塩井智美さん(鹿大教育学部 久保田ゼミ卒生)

大学の卒論テーマに学童保育を取り上げる。学童保育の現場を取材して、心のより所としての学童、指導員の労働条件の整備の必要性を感じたことを率直に語ってくれました。

●川添房子さん(花岡児童クラブ指導員)

55名の児童(内3名障がい児)を3名の指導員で ①笑顔で迎える ②保護者に帰っていくとき笑顔 ③「またね!」ニッコリ笑って出迎えていること。指導員間で子ども目線で、心の声を聴く、少しの変化への気配り、目配りするため日頃から指導員間の意思疎通を図っていることなど、とても参考になりました。

●井上みどりさん(南九州市企画課共同参画係)

学童に預けていた保護者の立場で、働く女性の労働環境について、また親に余裕がないと子どもをほめることができない等、母性的豊かさの必要性を語っていただきました。

久保田先生からは、保育の質を今後どうしていくのか課題であること、伊藤先生からは子どものためにもっとお金を使って欲しいと要求していくことが必要であるとコメントをいただきました。

8月8日、全国連絡会議 厚生労働省へ要請行動を取り組む

現在国会では、「子ども・子育て新システム関連法案」は「子ども・子育て関連3法案」として、民主・自民・公明3党合意をうけ修正法案が審議されています。

衆議院で修正案が通ったことをうけて、全国連絡会議は8月8日厚生労働省と国会議員に対して、以下の趣旨で要請行動を取り組みました。

詳細内容は、同封の小宮山厚生労働大臣宛と国会議員宛の要請文書を参照してください。

■要望内容

- 1 【東日本大震災で被災した地域・原発事故の被害地域の学童保育の復旧・復興】国の責任によって、一日も早い学童保育の復旧・復興と、子どもたちの安全・安心な生活を実現してください。
- 2 学童保育(放課後児童クラブ)に対する市町村の実施責任を明確にし、運営の安定性・継続性を保障する制度になるような児童福祉法の改正を要望します。
- 3 学童保育の質の確保のために「最低基準」を含めた制度としてください。

お知らせ

第37回全国学童保育指導員学校九州会場

と き: 2012年9月30日(日) 10:30~16:30

ところ: 福岡県「春日市クローバープラザ」

◆受講料 2000円

◆弁当代 700円 申込みメ切 9月10日

※詳細内容は、同封の指導員学校案内チラシを参照下さい。

●2011年実施状況調査結果まとまる

2012年学童保育の実施状況調査結果です。学童保育数は2万843か所、入所児童数は84万6919人(前年比441か所増、入所児童数は2万521人増)※詳細内容は、同封しました。